

2023 年度  
名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻  
博士前期課程 建築学コース  
入学試験問題

**専門科目 I (計画系・設計製図)**

**【 設計製図 】**

**一般選抜（普通入試）**

**社会人特別選抜**

令和 4 (2022) 年 8 月 18 日 (木) 14:40~18:40

受験番号	
------	--

**注意事項**

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、設計製図の問題である。問題はこの表紙および白紙 1 枚と、問題 3 枚の計 5 枚からなる。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し出ること。
- 2) 本冊子の ホチキス止めを外さないこと。
- 3) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。
- 4) 本冊子の他に、答案図面用紙（ケント紙）1 枚、エスキス用紙（トレーシングペーパー）1 枚、受験番号シールが配布される。
- 5) 試験終了後、答案図面用紙の裏面右上に受験番号シールを貼ること。
- 6) 答案は日本語で解答すること。
- 7) 試験終了の合図があったら、答案図面用紙、エスキス用紙、本冊子を製図板の上に置き、試験監督者の指示に従って退室すること。



## 設計製図

課題：児童館と公民館の機能を有する地域交流施設を設計しなさい。

### 1. 趣旨

A市では、既存施設の老朽化と市民ニーズの変化に対応するため、郊外住宅地に位置する現在の公民館の敷地に、既存の公民館機能に加えて、子どもが遊びの場として利用できる児童館の機能を併設し、以下の条件を満たす地域交流施設を整備することとした。

- ・児童館は、平日の放課後や休日に、子どもたちが体を動かしたり、本を読んだり、新たな遊びを見つけるような場であり、保護者らが交流を深める場でもある。
- ・公民館は、幅広い市民が地域活動を行い日常的に立ち寄れる憩いの場であり、各種講座やサークル活動などの用途に利用できる貸室を持つ。
- ・単に2つの施設機能を複合するだけでなく、両機能が融合し、人々の活動が共用スペースにも溢れ出ることにより、子どもから高齢者まで世代を超えた交流が生まれる場とする。
- ・小学校区単位で整備される施設であり、利用者は基本的に徒歩や自転車で来訪する。

### 2. プログラム

#### 1) 全般

- ・延床面積は700m<sup>2</sup>程度、階数は2階建て、構造は自由とする。
- ・必要諸室とその規模は、下記の条件を満たすこと。各室の面積は目安であり、機能を満たせば、必ずしも壁で間仕切る必要はない。

#### 2) 必要諸室

##### ① 児童館機能

- ・遊戯室：80m<sup>2</sup> 大型遊具などを設置する。
- ・多目的室：50m<sup>2</sup> 図書コーナーを含み、児童の居場所となるスペース。
- ・子育て支援センター：60m<sup>2</sup> 子育てに関する相談、子育て親子の交流の場、授乳コーナーを含む。
- ・倉庫：適宜

##### ② 公民館機能

- ・フリースペース：80m<sup>2</sup> 地域住民の活動の場、地域相談カウンター、カフェコーナーを含む。
- ・集会室：50m<sup>2</sup>
- ・会議室：60m<sup>2</sup> 可動間仕切りにより2室に分けて使用可とする。

### ③ 共用スペース

- ・エントランスホール（ギャラリーや交流スペースを兼ねる）：適宜
- ・事務室（5名在籍）：30 m<sup>2</sup>
- ・便所（多機能便所を含む）：適宜
- ・階段：適宜、エレベータ：1基
- ・機械室：30 m<sup>2</sup>

### 3) 外部空間

- ・テラス：住民活動の延長として、屋外空間と屋内空間を一体的に利用できる。
- ・広場：日常的には児童の遊び場として利用する。
- ・屋外空間はできるだけ緑化する。
- ・敷地北東の遊歩道側から徒歩でアクセス可能とする。通常時は施錠されているが、イベント時には開放し、遊歩道側からの利用も可能とする。
- ・駐車場2台。駐輪場20台。

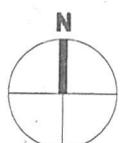
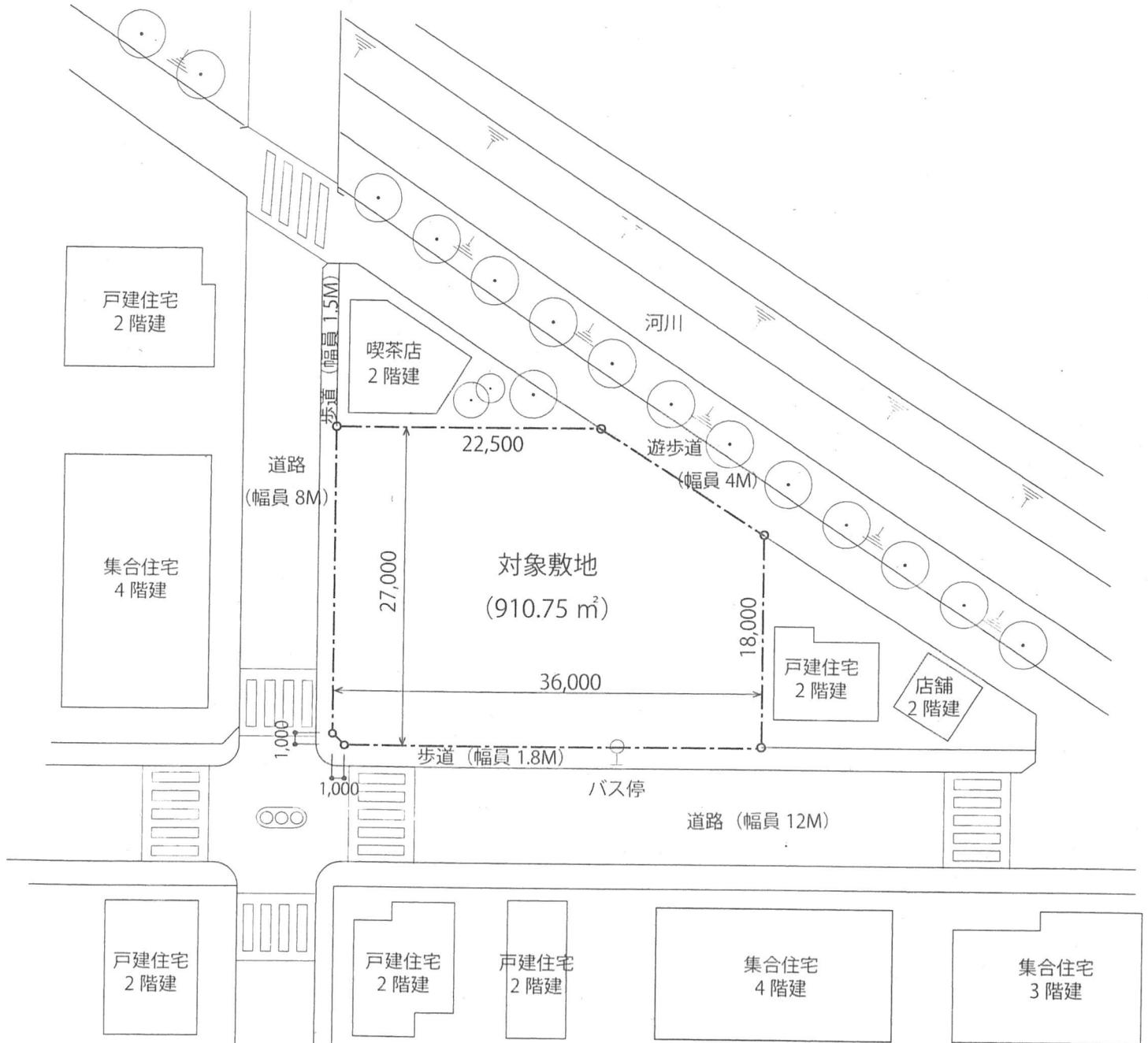
## 3. 対象敷地

- 1) 敷地は郊外住宅地であり、敷地図に示すとおり、周囲には集合住宅や戸建住宅が建ち並んでいる。
- 2) 敷地南側の道路は、両側に歩道をもつ幅員12mのバス通りである。
- 3) 敷地内は平坦である。
- 4) 敷地北東に川が流れしており、遊歩道沿いの土手は桜並木となっている。
- 5) 用途地域：第一種住居地域（許容容積率200%、許容建ぺい率60%）。斜線制限、日影規制は配慮しなくてよい。

## 4. 所要図面

- 1) 配置図兼1階平面図（S=1/100）：主要な家具を記入すること。植栽・舗装等外部空間を表現すること。
- 2) 2階平面図（S=1/100）：主要な家具を記入すること。
- 3) 断面図（S=1/100）：1面
- 4) 立面図（S=1/100）：1面
- 5) パース：意図した空間を最もよく示す外観または内観1面
- 6) 設計主旨：200字程度の文章と概念図やスケッチによって設計主旨を示すこと。

以上



敷地図 S=1:500